

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	茨木市													
計画の目標	下水道整備を推進し、いごちの良い生活環境の保全に貢献する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		336	A	336	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
	R2当初	R4末	R6末	
1	本市における下水道処理人口普及率は99.4%で概成しているが、国際文化公園都市（彩都東部地区）土地区画整理事業の進捗にあわせて污水幹線を整備するとともに、未普及地域の解消を図るため計画期間内に污水管L=1,541mの整備を完了させる。 計画期間内における污水管の整備率（%） 計画期間内の污水管整備済延長（m） / 計画期間内の污水管整備延長（m）	0%	71%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	中央処理区污水整備事業	φ200～350 L=1,541m 他	茨木市	■	■	■	■	■	336	—	—
											小計						336		
											合計						336		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

茨木市建設事業評価委員会（外部有識者）

事後評価の実施時期

令和8年2月

公表の方法

茨木市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

污水管整備により下水道処理人口普及率が向上し、下水道の利用により生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全が図れた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き污水管整備及び未接続家屋への接続切替促進に努め、更なる下水道処理人口普及率の向上を図っていく。

- ・未普及箇所への污水管整備

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	計画期間内における污水管の整備率（%）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%